

B-41 ソフトプリーツに関する研究
ひだの解析とソフトプリーツ効果につ
いて

文化女子大 ○豊間 和子
川本 和子
松村 澄江

1. 被服構成やドレーパリにおいて重要な要素と考えられるソフトプリーツを、織物の物理的性質に基づいて解明することを目的とする。

2. ソフトプリーツを構成している単位要素として単位ひだを考え、スキングル氏の *Drape-0-meter* を用いて、ソフトプリーツのドレープ性を測定した。また別に2種類のミシンにラフラを装置して、織物にソフトプリーツをほどこし、挿入されたひだの解析を行ない、つぎにソフトプリーツ効果を求めた。

3. スキングル氏の *Drape-0-meter* において、織物の支持点から x の距離にある織物の描く円弧の長さは、すでに知られている *MIT. Drape-0-meter* と同様に x の指数かん数になることがわかった。またこの実験では、織物特有の性質がラフリングの際にかなり影響をおよぼして、ひだの単位長さとしてソフトプリーツ効果を決める重要な因子となることが確認された。